

# 横浜市のスポーツ施設のあり方の検討について

## 1 背景

ラグビーワールドカップ 2019™開催に伴いラグビーをしたい子どもが急増するなど、スポーツへの関心が高まっている一方で、施設の抽選倍率の高さや老朽化などの課題があり、今後の「するスポーツ」「みるスポーツ」の環境づくりが求められています。

そこで、次期スポーツ推進計画の策定に向けて、市民のスポーツ活動の活性化や大規模スポーツイベントの誘致・開催につなげるため、スポーツ施設の現状について調査し、課題を整理します。

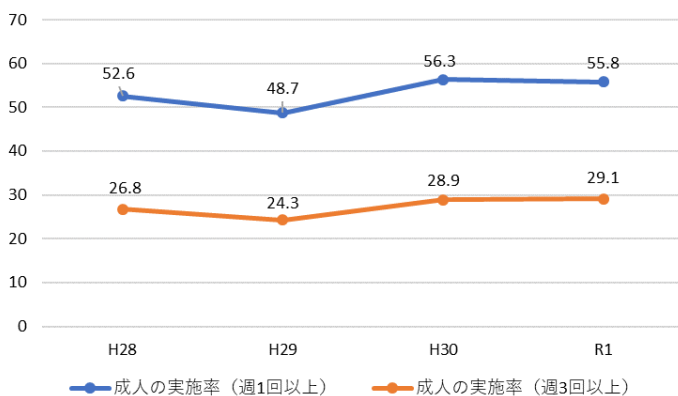
## 2 これまでの調査・検討状況

### (1) 「するスポーツ」の現状と課題及び今後の施設の考え方

#### 現状と課題

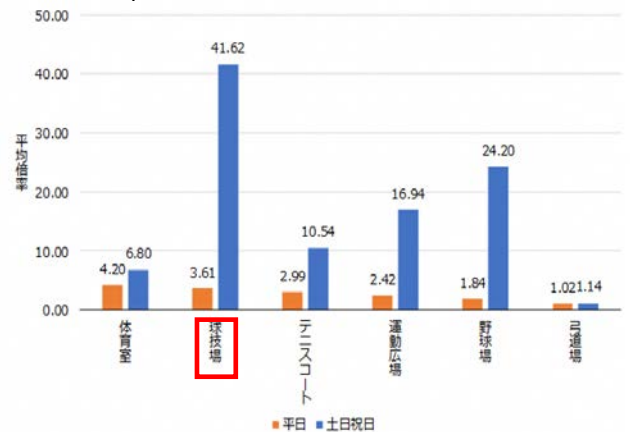
- ア 横浜市スポーツ推進計画の目標値（成人の週 1 回以上の実施率 65%程度、週 3 回以上の実施率 30%程度）を達成していない。（グラフ 1）
- イ 公共スポーツ施設の設置数を他都市と人口 1 万人当たりで比較した結果、横浜市の施設数は平均値よりも低かった。（全国平均値 2.82、横浜市 1.6、16/20 位）
- ウ 市内スポーツ施設の室場別平均抽選倍率は、土日祝日の倍率が高く、特に球技場の倍率が高く、申込数に対する施設数の不足により高倍率になっており、市民の「するスポーツ」の機会の喪失につながっている。（グラフ 2）

▼グラフ 1 成人のスポーツ実施率



▼グラフ 2 スポーツ施設の室場別平均抽選倍率

（市民利用施設予約システムを導入している市内公共スポーツ施設）



#### 「するスポーツ」の観点からの今後の施設の考え方

- ア スポーツ実施率向上のための取組として、スポーツに関する市民ニーズを把握し、そのニーズに応じた機能やサービスの整備を検討していく。
- イ 施設予約の平均抽選倍率が高い球技場の整備も併せて検討が必要である。
- ウ 厳しい財政状況を鑑みつつ、未利用地等の活用、統廃合、多目的化などスポーツ施設の整備について広く検討する必要がある。

#### 《取組例》

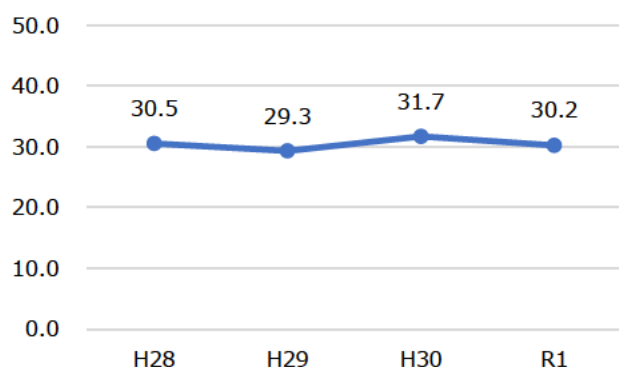
- (ア) 市民からのニーズが高いスポーツ種目を既存の施設で実施できるよう利用調整をすること
- (イ) 身近な場所でスポーツができる場を求めるニーズに対しては、学校のグラウンドへ夜間照明を設置すること等でスポーツの場を拡充すること
- (ウ) 安全に競技ができるような環境改善を求めるニーズに対しては、土のグラウンドからケガをしにくい芝生のグラウンドにすること など

## (2) 「みるスポーツ」の現状と課題及び今後の施設の考え方

### 現状と課題

- ア 横浜スポーツ推進計画の目標値（トップアスリートが参加するスポーツ大会やプロスポーツを間近で観戦した市民の割合が50%以上）を達成していない。（グラフ3）
- イ トップスポーツリーグ等の施設利用状況では、特にニッパツ三ツ沢球技場の利用が多い。
- ウ 2022年1月に発足されるラグビー新リーグにキヤノンイーグルスが参入するため、トップスポーツチームによる施設利用がより一層困難になることが見込まれる。（表1）

▼グラフ3 トップスポーツ観戦率(%)



▼表1 横浜市内におけるJリーグ・なでしこリーグ・ラグビートップリーグ等の施設利用状況（2019年度）

| 球技場名             | リーグ・競技名称      | 利用団体・チーム名称   |
|------------------|---------------|--------------|
| 横浜スタジアム          | NPB（野球）       | 横浜DeNAベイスターズ |
|                  | Xリーグ（アメフト）    | Xリーグ公式戦      |
| 日産スタジアム          | J1（リーグ）       | 横浜F・マリノス     |
|                  | J2（リーグ）       | 横浜FC         |
| ニッパツ三ツ沢球技場       | J3（リーグ）       | Y.S.C.C.横浜   |
|                  | なでしこリーグ（サッカー） | 横浜FCシーガルズ    |
|                  | トップリーグ（ラグビー）  | 日本大FIELDS横浜  |
|                  | トップリーグ（ラグビー）  | トップリーグ公式戦    |
| 三ツ沢陸上競技場         | なでしこリーグ（サッカー） | 横浜FCシーガルズ    |
| 日産フィールド小机        | なでしこリーグ（サッカー） | 日本大FIELDS横浜  |
|                  | なでしこリーグ（サッカー） | 横浜FCシーガルズ    |
| 神奈川県立保土ヶ谷公園サッカー場 | なでしこリーグ（サッカー） | 横浜FCシーガルズ    |
|                  | なでしこリーグ（サッカー） | 日本大FIELDS横浜  |

### 「みるスポーツ」の観点からの今後の施設の考え方

- ア 観戦を希望する種目の上位である「ラグビー(13.4%)」、「野球・ソフトボール(12.7%)」、「サッカー・フットサル(11.3%)」の大会を誘致・開催することは、「みるスポーツ」の促進につながる。
- イ 施設の長寿命化等の整備に併せて、市民がまた訪れたいと思うような機能向上や魅力向上につながる整備をすることが、観戦者の増加につながると考えられる。
- ウ 複数のチームが1つの施設を利用していることによる混雑状況は、新たな大規模スポーツイベントの開催において課題である。厳しい財政状況を鑑みつつ、未利用地等の活用、統廃合、多目的化など、スポーツ施設の整備について広く検討する必要がある。